

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙 1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		利用人数や活動内容により部屋を分けるなどの対応を行い、より細やかな支援を心掛けている。 集団活動でも個別活動でも使える部屋数があり、十分にスペースがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	7		定数以上の配置で行っている。 利用者の人数に対して、もしもの場合も含めて厚く配置されている。 適切に配置されていると思う。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		利用児の特性や必要性に応じ環境整備を行っている。 活動内容や、利用児の特性に合わせて配慮していると思う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		感染防止に努め清掃とアルコール消毒を行っている。 日々の清掃は丁寧に行っている。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		ミーティングの時間や振り返りの時間を設け、個人だけが業務の負担を負うことがないように行っている。 業務の分担や、話し合いの時間を設け職員間で情報を共有したりする等が出来ている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		評価表を基に保護者の意向に沿うような事業所になるように管理者と話し合いの場を設けている。 評価表によって保護者の意向が確認できていると思う。

業務改善	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	結果を集計しホームページに公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7		定期的に非常勤セラピストからの指導・助言を受けている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		月に1度研修テーマを決め職員研修を行っている。 研修にまだ1度しか参加していないため、評価がわからないが、しっかり計画されていると思う。 年間計画を立て、必要な研修等を実施できている
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		保護者との面談・アセスメントをもとに支援計画を作成している。 聞き取りを行い、情報を分析し作成されていると思う。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	ツールは確立している。定期的に評価を行い有効的に活用していきたい。 評価ツールはあるものの、有効に活用されていない思う。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		利用児一人一人の支援内容をスタッフで共有し統一した支援が行えるようにしている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		利用児一人ひとりの支援内容をスタッフで共有し統一した支援が行えるようにしている。 支援内容を把握し、支援が行われていると思う。

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		全スタッフでプログラムを考え、専門性を活かした活動ができるように多職種で話し合いを行っている。 毎月、利用児の成長や、状況に合わせた活動内容の話し合いが出来ている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		それぞれのニーズに合ったプログラムを考え実施しモジュールステップでの経験を積めるようにしている。 季節行事や、イベント等を取り入れ、変化のある活動が出来ていると思う。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		活動や子どもの発達に応じて個別と集団を組み合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		支援開始前のミーティングまたは活動中はリーダー制にし活動が円滑に進められるように工夫している。 支援前は、活動内容や、利用児の確認等話し合いが出来ている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	支援終了後、ミーティングを行い振り返りと情報の共有を行っている。 活動後に話し合いが出来ているので、午前中は利用児の支援について話し合うことができているが、午後の利用児については不十分な時があると思う。 支援後に話し合いが出来ている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		支援終了後、支援記録を書く利用児記入し、スタッフ間で共有している。 支援後、その日の記録を書き、情報共有出来ており、都度改善策等話し合うことができている。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		多職種で意見交換を行いながらモニタリング(評価)を行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		児発管に加え、セラピスト（PT・ST）も会議に参加し専門的な立場からの助言を行っている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		必要に応じケア会議を行い情報の共有を行っている。関係機関などの情報や相談から、必要に応じて情報共有を行い支援を行っている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	リハビリに通っている利用児の通院先を訪問し、担当セラピストと情報の共有を行っている。病院に見学に行き、利用児の状況などを話し合うことができる。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2	現在医ケア児の利用はないが、今後必要に応じ、医療機関との連携体制を整えていきたい。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		送迎の際の情報共有または年に1～2度園とのケア会議を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		就学支援シート作成し情報の提供を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		センター主催の研修会に参加している。研修を受ける機会があれば参加している。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	今後機会を設け行ってみたい。 利用児が他の保育園に行き交流する機会は今のところないが同会社内での行き来はあり、他の子どもとの関りが持っているとと思う。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	1	できる限り参加している。 機会があれば参加していきたいと思う。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・ノートやLINEを通して、連絡をとり情報交換している。 ・連絡帳や送迎時、情報の共有を行っている。 ・課題の発生した際には、速やかにケア会議を行っている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		必要に応じて親子療育の実施や年長児保護者に向けての就学前の事前準備としての家族支援を行っている。 希望または事業所からの声掛けで、活動の様子を見学に来ていただきお子さんの様子について共通理解を行っている。
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		契約時に行っている。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		ガイドラインをもとに、保護者へのアセスメントまたは評価時には支援計画の見直しを行い個別支援計画を作成している。また作成後速やかに保護者へ確認し支援を行っている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		送迎時や連絡帳で積極的にコミュニケーションを図り助言を行うようにしている。 保護者からの困り感などの訴えを関係機関で共有し問題解決に向けてケア会議の開催を行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	今後保護者同士のやりとりができるような場を提供し、交流の場を設けていきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		保護者からの申し入れに対し、各関係機関（相談員）への情報の提供を行い迅速に対応するように心がけている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		毎月、活動報告と予定表を配布し、HP、FBで情報発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		個人ファイルは鍵付きの棚で管理し、不必要な書類はシュレッダーにかけるようにしている。

				気を付けて管理してる。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		コミュニケーションツールの提案や使用方法等情報を伝えながら、各関係機関で情報を共有し行っている。 専門用語は極力使わないよう、わかりやすい言葉で伝えるよう心掛けている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7		移転したばかりなので地域との関りはまだ少ないが今後地域行事参加などの交流の場を増やしていきたい。
非常時等の対	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		マニュアルを作成し、研修会や職員会議で、周知を行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	防災についての研修または年に2度の避難訓練を実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		契約時のアセスメントまたはフェイスシートにて、状況の確認と共有を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	現在アレルギーのある子どもの利用はないが、対応については把握している。 事業所で食事の提供はないが、アレルギーの確認は行っている。

応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	<p>該当することが発生した場合には、早急に事例集を作成し共有を行っている。</p> <p>事案が起こった際は、ミーティングなどでも情報共有で来ている。</p>
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	<p>虐待防止委員会を設置し月に1度研修を行っている。</p> <p>事例やチェックリスト等、研修で話し合う機会が設けてあり、見直す事が出来てと思う。</p> <p>毎月の会議の際、担当が事例を挙げて、検討する機会がある。</p>
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	<p>必要に応じて手順を踏み、保護者の了解を得ることを認識し今後そのような場合には手順通りに行っていく。</p> <p>必要な書類には記載するようになっている。</p> <p>利用児の特性・状況に合わせて、保護者に同意を得ている</p>